

令和6年度習志野市史編さん委員会議事録

1 開催日時 令和7年3月25日（金） 午後2時から午後2時50分まで

2 開催場所 習志野市庁舎2階 会議室2-4

3 出席者

【委員】上山 和雄 委員長
石山 秀和 副委員長
野元 啓子 委員
加藤 努 委員
河西 祐子 委員
鈴木 貴幸 委員

【出席職員】府馬 一雄 生涯学習部長
芹澤 佐知子 生涯学習部次長
越川 智子 生涯学習部副参事（社会教育課長事務取扱）
松本 潤 社会教育課文化財係長
藤本 光徳 社会教育課主任主事
岩田 薫 社会教育課主任主事

（欠席委員）小倉 博 委員

【傍聴者】0名

4 会議内容

第1 会議の公開

第2 会議録の作成等

第3 会議録署名委員の指名

第4 報告

（1）文化財

（2）市史関係資料の活用等について

（3）市史編さん業務について

第5 その他

5 配付資料

資料1 「令和6年度習志野市史編さん委員会」会議資料 1部

6 議事内容

第1 会議の公開

原則公開としたうえで、「日程第4 報告（3）市史編さん業務について」は、掲載写真等の著作権等の関係から習志野市情報公開条例 第8条 第5号の規定に該当する「市が行う事業に関する情報であって、公開することにより、当該事業の性質上、当該事業の適正な遂行に支障を及ぼすおそれがあるもの」に関する事項であるため、非公開とすべき事項と思われるため、審議の結果、非公開とすることと決定した。

第2 会議録作成等

会議録は要点筆記とし、会議名、開催日時、開催場所、出席者氏名、審議事項、会議内容、発言委員名及び所管課を記載した上で、市ホームページ及び市役所グラウンドフロアの情報公開コーナーにおいて公開することを決定した。

第3 会議録署名委員の指名

会議録署名委員の指名について、鈴木委員と野元委員を指名し決定した。

第4 報告

（1）文化財及び（2）市史関係資料の活用について

松本係長：

「日程第4 報告」として、令和6年度に行った文化財及び市史に関する業務について報告させていただく。

「令和6年度 習志野市史編さん委員会 資料」5ページを御覧いただきたい。はじめに「（1）文化財」について報告する。

まず「①県指定文化財」の「ア. 旧大沢家住宅」についてだが、今年度の12月末時点の来館者数は4,062名であった。昨年度、北側と東側の表層葺き替え工事を行った茅葺屋根について、今年度は昨年11月から3月にかけて南側と西側の工事を行い、全面の工事が完了した。工費は約3,000万円で、うち一部について県補助金を活用して行った。

また、株式会社三菱UFJ銀行津田沼支店様より畳12畳を寄贈いただき、ザシキ・ヨジョーの畳交換を行った。

次に「イ. 旧鴛田家住宅」についてだが、今年度の12月末時点の来館者数は8,952名であった。旧鴛田家住宅も、茅葺屋根の経年劣化による損傷が激しく、屋根の銅板が落下する事象なども発生していることから、令和7年度にL字の谷部分の緊急工事を行う他、県補助金を活用し、令和8年度以降の表層葺き替え工事に向けた設計業務委託を行う予定となっている。

この旧大沢家住宅や旧鵜田家住宅では、放課後子供教室の協力により作成した七夕飾りの展示や、おはなし会、お月見会、落語会などを開催し、市民に市内の文化財に触れていただく機会を設けた。

資料６ ページ下段を御覧いただきたい。

次に「②市指定文化財」について報告する。

「ア．史跡等説明板」について、今年度は藤崎森林公園内に設置している木曾王滝森林鉄道機関車の説明板の修繕を行っている。

７ページの「イ．藤崎正福寺大イチョウ」については、樹齢約４００年を数え、市の指定文化財や、名木に指定しているなど、市民に親しまれてきた大イチョウだが、昨年度の樹木医診断にて、幹が道路側に折れる可能性があり、安全管理上、幹の剪定について考える時期に来ている、という提言を受けた。これを受け、習志野市文化財審議会にて、剪定を含めた保存方法等について御意見等をいただき、安全性の観点から、主幹を約４．５メートルの高さで剪定することとした。作業は昨年６月に行い、当初１０メートルあった樹高が、現在は約半分ほどとなっているが、現在まで樹木の健康状態に問題はなく、夏から秋にかけては、以前と変わらず、枝葉がしっかりと生えている。市としては、今後も３年毎の樹木医診断を行いながら、引き続き樹木の状態を注視していきたい。

次に、「（２）市史関係資料の活用について」、報告する。

まず「ア．市史関係資料の収集」としては、鉄道連隊に関する図書を購入した他、市史に掲載すべく市内の建造物に関する写真の撮影、収集なども行った。

次に「イ．市史関係資料の活用」として、市史資料の展示や歴史に関する講座への講師派遣等を行った。展示については、市役所や埋蔵文化財調査室で、発掘調査の出土品や写真パネルを展示している他、総合教育センターでは、習志野俘虜収容所での暮らしや、地元の人々との交流の様子を写真パネルで展示している。また、講師派遣として、社会教育課職員が、市の歴史や民俗に関する講座などを行った他、各公民館の事業や市民カレッジでも、歴史や文化に関する様々な講座を行った。なお、資料８ ページ上段の８月１９日開催「習志野市の年中行事」の参加者数は、６０名と確認したので補足させていただく。

「（１）文化財」、「（２）市史関係資料の活用等について」の報告は以上である。

<質疑応答>

（質疑・意見等なし）

※「第４ 報告（３）市史編さん業務について」は非公開。

第5 その他

上山委員長：

その他について、事務局から説明をお願いします。

越川課長：

次回の会議は8月頃の開催を予定している。今程の「令和版習志野ーその今と昔」作成の進捗について報告させていただこうと思っている。日程については詳細が決まり次第、連絡させていただく。

上山委員長：

以上をもって、令和6年度習志野市史編さん委員会を閉会する。